



発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組
合費に含む

香教組ホームページ
http://kakyoso.com/

民主的な道徳授業を創造しよう

「特別の教科 道徳」をめぐって

中学校の教科書採択
8月31日、全国の市町での中学校「特別の教科 道徳」教科書の採択が終了しました。全

今年度4月から小学校では道徳が教科化され、来年4月から中学校「道徳」が教科化されます。香川県教職員組合では、国による検定教科書を使い、子どもに心を通わせる、道徳の「教科化」そのものが問題であると捉え、この間学習をしてきました。

心の自己評価？

中学校「道徳」教科書は8社が検定を通過しています。多くの教科書で、それぞれの教材の冒頭や最後に、徳目を誘導する設定が載っています。これでは、道徳の授業で最も大切にしたい子どもたちの本音は語られず、建前ばかりを教える授業の方向性へ誘導される危険があります。また、8社中5社は、星の数や5段階などのものさしで子どもたちに評価をさせるページを設けています。いかにも子どもたちが評価したように見せかけながら、子どもたちの心を縛るものです。決められた枠組みでの評価は自己評価ではなく、結果的に子どもたちの心を通わせることになりません。

香教組では、香川県国民教育研究所(通称・民研)の活動を応援しています。6月にあった学習会内の発言で所員から以下の4つの問題点も挙げられました。①香川県の道徳副読本は質

教師がどう指導するかで内容がガラリと変化する

教(9月5日)の調査では584採択区中317地区の結果が明らかになっており、東京書籍が104採択地区で最多、以下日本文教出版93、光村図書57、教育出版23、学研教育みらい19、あかつき13、学校図書6、日本教科書1になって

道徳教育への危惧

6月17日に前文部科学省次官前川喜平氏が香川県で行った「憲法と教育について」という記念講演の中で、この間の道徳科の流れが「地球的課題が欠如し、道徳の多様性を無視し、特定の価値を刷り込む」としている」ということを強調しました。また、「文科省は政治教育について、現実の政治的事象を積極的に取り入れるという一方、教師の個人的な見解は述べると言っており、教師が萎縮してしまふ恐れがある」と問題点を指摘しました。小学校の道徳教科書の中にある「星野君の2塁打」という教材を取り上げ、本人の機転を取るか、監督の指示を取るかで岐路に立たされたとき、指導書通りの指導ではものごとを主体的に考える子供の育ちはないという話も印象的でした。

採択地域	使用する教科書(発行所)
さぬき・東かがわ	東京書籍株式会社
小豆	株式会社学研教育みらい
高松・木田・香川	光村図書出版株式会社
坂出・綾歌	光村図書出版株式会社
丸亀	光村図書出版株式会社
善通寺	東京書籍株式会社
仲多度	日本文教出版株式会社
観音寺・三豊	光村図書出版株式会社
県立学校	使用する教科書(発行所)
高松北中学校	株式会社学研教育みらい
盲学校	教育出版株式会社
聾学校	学校図書株式会社
高松養護学校	学校図書株式会社
善通寺養護学校	光村図書出版株式会社

「道徳科」を乗り越える

8月25日、香教組「夏の教育」が薄っぺらい。②小学校道徳教科書のなかにも「人としてこうあるべき」を説く良い教材もある。③問題はこの教材の中に意図的・政治的な思想が入り込んでいること④教科書の中に首相が出てきたり、教育の中立性が崩されたりしてしまっている。というものでした。そして、教師がどう捉えるか、どう指導するかで内容がガラリと変わってしまう。上っ面だけの指導をするとうダブルスタンダード(自分の思うことを発言せず、教科書や先生の期待に添った発言をする子ども)が増え、自分で考える力が低くなってしまいうという発言が相次ぎました。

家の乙武洋匡さんは、「次に排除されるのは『私』かもしれない」と述べ、誰もが「生産性がない」との言葉で切り捨てられる事の恐怖を語っています▼香教組は春の教育講座でLGBTの権利保護を含め、多様な社会の実現をめざす「あしたプロジェクト」さんにお話を伺いその重要性を確認したばかりです▼「特別の教科 道徳」ができるようになった背景には児童生徒の「道徳性の低下」があったと聞きます。しかし道徳性の低さに驚かされる国会議員の発言は枚挙にいとまがありません▼本当に道徳性がないのは国会議員や官僚そのものです。

講座」で渡辺雅之氏(大東文化大学准教授)の講演、「『道徳科』を乗り越える道徳教育の実践」がありました。ここでは文科大臣の不適切発言や「LGBTには生産性がない」とした、国会議員の発言(下記の「小黑板」参照)を引用し道徳性とは何かを考えるとともに現場で子どもたちに「道徳とは何か」を見て学ぶことの大切さを訴えました。「道徳とは、異なる他者と共に生きる術」であり、教材も教科書に縛られない、民主的な道徳授業を創造しようという提案をたくさん授業例と共に示してくれました。

本当に道徳性がないのは？

香川県の道徳副読本を大事にしながら、徳目にとらわれない創造的な授業の実践が求められることを実感しました。

小黑板
「LGBTに生産性がない」こう言い切った国会議員を存じでしょうか。自民党・杉田水脈衆議院議員です。月刊誌に寄稿した内容に批判が広がっています▼杉田議員は、寄稿文で「LGBTのカップルのために税金を使うことに賛同が得られるものでしょうか。彼ら彼女らは子供を作らない、つまり『生産性』がないのです」「なぜ男と女、二つの性だけではいけないのでしょうか。」などと持論を展開しています▼「生産性」で人間に優劣をつけるかのような考え方は極めて危険です。作

夏の学習会参加報告

全国の学習会に参加して



● 障害者教育の分科会にレポーターとして参加しました。それぞれが障害種の違う中で討議でしたが、こどもの発達にに応じたきめ細やかな支援の仕方や寄り添い方についてとても勉強になりました。今回の経験を元にこれからも子どものねがいを捉えながら支援していきたい

● 教育条件整備の分科会で、香川県の給食センター統合や学校統廃合、小中一貫教育の動きについて報告しました。また、子どもたちの教育条件整備のため全国の様々なとりくみについても聞きました。共通しているのは、黙っていても行政は予算不足を理由に何もしないということでした。エアコン設置も大切な命が犠牲になったことで検討段階に入ったという話もありました。これまでよりもおかしなことはおかしいと声をあげ続けることが必要だと確信しました。

● 山々に囲まれた長野での教育のつどいに、心をわくわくさせながら参加しました。学校と組合がダブルワークになっている現状があり、休みの日にある行事への参加を呼びかけるのもつい遠慮がちになっていました。教育課程の分科会を通して、組合と学校がつながりました。組合で学んだことが学校で生かされるという発表をたくさん聞きました。これから、若い組合員の力になっていける組合の在り方を考えていきたいと思いました。

● 新学習指導要領で子どもたちがどのように変わるかについて、改めて考えさせられる教育のつどいでした。中でも、道徳の分科会では、本音で語れない子ども達やひとりの子どもを攻撃にとらえる描写の多い教材に、道徳の教科化で混乱している現場の声がたくさん出ました。忙しい毎日の中で、教師の道徳性がいかに大切なものであるのかについて考えさせられる充実した教育のつどいでした。

● 非核化に向けた動きが世界中で行われている中で、唯一の被爆国である日本が、核兵器禁止条約に調印しなかったことは、世界的に見ても予想外のことが、伝わってきました。



● 新学習指導要領で子どもたちがどのように変わるかについて、改めて考えさせられる教育のつどいでした。中でも、道徳の分科会では、本音で語れない子ども達やひとりの子どもを攻撃にとらえる描写の多い教材に、道徳の教科化で混乱している現場の声がたくさん出ました。忙しい毎日の中で、教師の道徳性がいかに大切なものであるのかについて考えさせられる充実した教育のつどいでした。

● 山々に囲まれた長野での教育のつどいに、心をわくわくさせながら参加しました。学校と組合がダブルワークになっている現状があり、休みの日にある行事への参加を呼びかけるのもつい遠慮がちになっていました。教育課程の分科会を通して、組合と学校がつながりました。組合で学んだことが学校で生かされるという発表をたくさん聞きました。これから、若い組合員の力になっていける組合の在り方を考えていきたいと思いました。



第12回 香川県教育研究集会

憲法が生きる教育

すべての子どもたちが笑顔で学べる平和な未来を!

10月28日(日) 10:00~15:45

開催場所 香川大学教育学部キャンパス内

日程	開会行事	9:30~10:00
	分科会	10:00~12:30
	講演	14:00~15:30

第1分科会 学級づくり・授業づくり

第2分科会 主権者教育と平和教育

第3分科会 生徒の自主活動・学校づくり

第4分科会 働きやすい職場づくり

第5分科会 特別なニーズを育する子どもたちへの教育

記念講演

「民主主義と道徳教育」

講師:徳島大学 山口 裕之

◆徳島大学 山口裕之氏プロフィール

大学での職務の内閣(新入生)企画が対象の「大学入門講座」に、レポーターとして担当の講義を講義し、毎回の授業と実際に合わせて講義を行っています。

そのほか、科学思想の発展(新書)、科学思想の発展(新書)、科学思想の発展(新書)、『人間科学の哲学』(勁草書房)、『認知科学』(新編社)、『心と生命をどう理解するか』(講談社)、『コトバで言われるレポーターの言や方』(新編社)、『人をこころで創る』(日本実業出版社)、『大学改革』(新書)、『新書』

近年、初等教育に求められる道徳教育の重要性が叫ばれており、今回の講演では、よく「人間的な素養の育成」と言われるが、民主主義の本質は多様な意見の対立を前提としたものである。民主主義の本質は多様な意見の対立を前提としたものである。民主主義の本質は多様な意見の対立を前提としたものである。民主主義の本質は多様な意見の対立を前提としたものである。

【主催】香川大学教育学部教員組合 香川県高等学校教職員組合 香川県教職員組合 香川県私立学校教職員組合連合

各国の若者が広島や長崎でおきた悲惨さを学ぶ中で、「一つの花」や「ちいちゃんのかげおくり」などの戦争の悲惨さを伝える内容の作品が消費しようとしている……。平和をの鐘を鳴らし続けることのできる教師でありたいと感じました。

佐野祐也

秋の署名・アンケート

- ゆきとどいた教育を求める全国署名**
対象：全教職員、家族、その他誰でも
最終集約：11月末
- 教職員要求意識アンケート**
対象：全教職員 第1次集約：9月末
- (高松市に関連する方へ) 高松市の保育料減額を求める署名**
対象：高松市在住または高松市勤務
第2次集約：9月末
- (高松市に関連する方へ) 高松市の子ども医療費・中学生の外来窓口無料化を求める署名**
対象：高松市在住または高松市勤務
第2次集約：9月末

集めた署名が大きな力になっていきます。御協力をよろしくお願ひします。

